

LiBH₄系固体電解質

東北大などと量産技術

三菱ガス化学

カーにサンプル提供していく。

リチウムとホウ素の化合物であるLiBH₄系の固体電解質は東北大が開発していたが、従来の製法は量産が困難だった。今回、有機溶媒を用いた溶媒法により量産を可能にした。

三菱ガス化学は20日、東北大学の原子分子材料科学高等研究機構（AIMR）および金属材料研究所の折茂慎一教授らの研究グループと、柔軟で電極層と密着しやすい水素化ホウ素リチウム（LiBH₄）系固体電解質の量産化技術を開発したと発表した。

現在、主流であるリチウムイオン二次電池（LIB）に続く次世代電池として開発が進む全固体電池の材料として、車載用電池メー